

たまがわの風

平成24年8月31日
大阪府立たまがわ高等支援学校
校長室発
NO. 11

校長室からの情報発信を始めるにあたり、いろいろとネーミングを考えていましたが、校歌の2番の一節「♪たまがわの風にのせて伝えよう♪」から引用し「たまがわの風」としました。

「たまがわの選手たちに期待を込めて」

校長 鈴木 和夫

**僕らならできると思いながら 闘って
新しい未来を イメージすればいい
あの虹を渡って まだ見ぬ その先へ
自分を信じて 始まったばかりさ**

ロンドンオリンピック一色の夏休みでした。メダルを獲得した選手にも残念だった選手にも大きな拍手を贈りたいと思います。出場するまでの努力は相当なものだったと想像します。だからあの汗・あの涙・あの笑顔が美しいのでしょうか。

オリンピック前に、テレビの番組でオリンピックに出場する選手がこんな歌詞の曲を勇気が出る歌として紹介していました。誰のなんという曲かもわかりませんでした。このフレーズだけが、頭の中に残りました。(気になってインターネットで調べたら、ナオト・インティライミという人の「Brave」という曲だとわかりました) なんとなくたまがわの生徒のみなさんのチャレンジへのエールのように聞こえたからかも知れません。

卒業後の「就職」という目標を実現するために、「たまがわ」という学校を選択し目標に向かって、日々の学習に取り組んでいる姿は、オリンピック選手と共通のものがあります。一つずつ確実に身につけていく力が、みなさんの新しい未来につながっているとも言えます。

**まがりくねった道だってゴールにつながってるって
そう信じながらスタートすればいい
過去の涙だって笑い飛ばせるくらい 輝く未来のために進もう**

卒業後の「就職」という目標は、非常に大きく困難が予想されるものですが、みなさんの先輩たちが、チャレンジ精神で、切り開いてきた道です。スポーツの歴史もまた、同じことが言えます。多くの人々の挑戦の末に数々の世界新記録は生まれてきたのです。

オリンピックに参加した選手も「就職」という目標に向かって努力を続けるみなさんの姿も素敵だと思います。

**転んだってまた立ち上がればいいさ
小さな勇気でこの道もかわるさ
いつか花を咲かせる日まで 胸に抱いた夢を信じて**

充実と躍進の後半戦となることを期待しています。

<学校新聞より抜粋>